

安心をすべての人に届けたい

きたもと

well-being 通信



北本市議会議員

さくらい

桜井すぐる



<http://sakuraisuguru.jp/>



第33号

市長は三宮氏が圧勝、議員は永井氏が4位で初当選 三宮市政2期目の課題と新たな「10のお約束」

市長選挙 開票結果

1	三宮幸雄	現	17,561票
2	諏訪善一良	新	8,162票

投票率 47.43% (前回 48.62%)

無効票 918票 (前回 749票)

市議会議員選挙 開票結果

順位	候補者名	会派	得票数	前回
1	滝瀬光一	彩桜	3,436	3,513
2	今関公美	緑風	2,440	1,580
3	現王園孝昭	彩桜	2,146	2,306
4	永井 司	彩桜	1,478	(新人)
5	保角美代	公明	1,268	1,291
6	岡村有正	彩桜	1,238	1,424
7	島野和夫	公明	1,210	1,281
8	齊藤 章	公明	1,161	(新人)
9	桜井 卓	緑風	1,089	971
10	大島達巳	みらい	1,072	1,086
11	中村洋子	共産	1,050	1,315
12	湯沢美恵	共産	985	1,144
13	諏訪幸男	彩桜	954	632.690
14	金森すみ子	みらい	953	1,076
15	村田裕子	緑風	883	1,150
16	工藤日出夫	市民	838	1,305
17	小久保博雅	緑風	774	(新人)
18	青野康子	彩桜	753	(新人)
19	高橋 誠	彩桜	641.726	(新人)
20	毛呂一夫	れいわ	627	(新人)
21	加藤潤一		612	(新人)
22	高橋伸治		473.273	645

投票率 47.44% (前回 48.64%)

※前回欄の斜体は直近の市議選出馬時(元職)

私は今関議員、村田議員、小久保議員と4人で会派を組むこととなりました。また新人3人、元職2人が入った「彩桜きたもと」が最大会派となりました。

市長選は現職の三宮市長が圧勝で再選

市議会議員は新人7人中6人が当選

令和5年4月23日に投開票された北本市長選挙は、現職の三宮幸雄市長が再選を果たしました。市議選では今関議員が大きく票を伸ばし、新人は7人中6人が当選。現職の多くが票を減らしました。

新ごみ処理施設整備、西仲通線の行方は？

議会の会派構成、新人議員の判断次第

本市にとって最大の課題は新ごみ処理施設の整備です。埼玉中部環境保全組合(鴻巣市・北本市・吉見町)において建設場所を決定、『新たなごみ処理施設等整備構想』が策定されました。現職が当選したことで、大幅な見直しはされず、建設に向けて加速することと思います。しかし、地方自治法が求める「最少の経費で最大の効果をあげる」ためには、組合議会によるチェックが極めて重要となります。誰が組合議員に選出されるか要注目です(構成市の議員から選出されます)。合わせて、今後想定される構成団体間での駆け引きに三宮市長がどんな主張・戦略で臨むのかも注目をしています。

もう一つの大きな課題、久保特定土地区画整理事業とデーノタメ遺跡の国史跡化については、令和3年9月に発表した市長の見直し案に沿った形で事業が進められることになるでしょう。そこで問題となるのは、市議会の会派構成と各議員の判断です。早ければ6月定例会で補正予算が提案されると思います。改選前の議会では、特に西仲通線を大きく曲げる(遺跡範囲を迂回する)ことについて賛否が分かれ、反対が多数を占めていました。今後のカギを握るのは6人当選した新人議員の判断です。この問題について公表されている資料はたくさんありますので、新人を含む各議員が資料をしっかりと読み込み、正しく理解し、自らの考えを積極的に表明すべきです。

三宮市長の10のお約束を確認しましょう

三宮市長が市長選挙の公選ビラに掲載していた『10のお約束』は次のとおりです。

1. 小・中学校「給食費」の完全無償化と体育館のエアコン設置
2. 子どもの貧困、学びの権利を守るため給付型「奨学金」の創設
3. 民間事業者と連携し高齢者や障がいのある方にやさしい癒しのまち
4. 官民連携によるあらゆる地球温暖化対策及び焼却ゴミの削減
5. シティプロモーション事業の推進とふるさと納税を活用した地域活性化
6. 久保特定土地地区画整理事業の早期完成とデーノタメ遺跡の国史跡化
7. 市指定文化財カタクリ自生地の整備と遊休農地の利活用
8. 民間事業者や学校とコラボした芸術、文化、音楽イベント等の開催
9. 各世代のニーズに応じた健康・癒し遊具等の設置（アスレチック遊具、スケートボードパーク、北本桜テラス、富士見ブランコ）
10. 市民要望の強い安全安心な都市基盤の整備（南大通り線の延伸（県要望）、上尾道路沿線整備、石戸下踏切（ニツ家）及び連結道路の拡幅）

市長のお約束に対する桜井すぐるの見解

1と2について方向性は賛成ですが、事業費は数億円規模になると思うので財源が大きな課題です。どうやって財源を調達するのか、市長に確認する必要があります。また、公共施設マネジメント計画では、学校は今後統廃合が検討されます。児童生徒数が少ない学校へのエアコン設置の計画についてどうするかは、確認しなければなりません。

3については「癒しのまち」が具体的にどんなことを想定しているのか不明です。「癒し」よりも、高齢者や障がいのある方ご本人や、そのご家族が

利用したい（求めている）サービスを利用しやすい価格で提供することの方が重要と考えます。

4について、北本市ではゼロカーボンシティ宣言をしましたが、そもそもゼロカーボン自体が非現実的ですし、ゼロカーボンに向けたロードマップも示されていません。やみくもな取組ではなく、具体的な数値を元にした取組を求めてまいります。

桜井すぐる 2期目に向けて取り組むこと

私は市長選挙において三宮候補の応援演説を行いました。三宮市長の市政運営や政策・公約を全面的に支持しているわけではありません。常に市民目線で、今後も一期目同様誰よりも厳しく三宮市政をチェックし、是々非々で臨みます。

さて、議会として自ら決められることに、私が今回公約に掲げた「議員定数の削減」があります。北本市は議員1人当たり人口約3200人、県内の人口10万人未満の市の平均は議員1人当たり約3900人です。北本市議会が現在の20人から16人に4人削減すれば県平均程度になります。議員が本会議・委員会に出席する場合の交通費（費用弁償・日額2千円）の廃止も提案します。

	北本市	桶川市	志木市
人口	6.6万人	7.5万人	7.6万人
定数	20人	19人	14人

議員定数の削減や費用弁償の廃止により捻出した財源（約2,600万円）を何に使うかは市長の権限の範ちゅうですが、医療的ケア児が保育所や学校に通学する場合に必要な看護師等の配置や、重層的支援体制の強化（特にアウトリーチを行う専門職の増員）など、すべての人が安心して暮らせるまちづくりのために使うよう求めています。

また、令和4年10月に施行された子どもの権利条例に基づく取組や、健康福祉常任委員会で決議したいいわゆるごみ屋敷対策の取組についても、迅速な対応を市長に求めてまいります。

お困りごとがある際にはお気軽にご相談ください

桜井すぐるは元県職員です。納税や生活保護等の各種制度に関しては議員では詳しい方です。お困りごとがある場合で、市には相談しにくい場合、市の対応に疑問・不満がある場合などお気軽にご相談ください。電話、メール、DM、SMS可です。



LINE
公式アカウント



発行者 桜井すぐる後援会（代表：桜井 卓）
住所 〒364-0034 北本市高尾1-166-6
電話 090-9389-3572
メール sakuraisuguru.kitamoto@gmail.com
Twitter @sakuraikitamoto

早稲田大学教育学部卒業。元埼玉県職員。50歳。
令和元年5月1日から北本市議会議員（2期目）。
2期目の役職や所属委員会は未決定、会派は緑風会（今関・村田・桜井・小久保）に所属します。